



平成21年7月17日

各位



株式会社アイデアインターナショナル
代表取締役社長 橋本雅治
(コード番号: 3140 大証ヘラクレス)
問合せ先: 常務取締役経営管理部長
松原元成
(TEL 03-5446-9505)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年6月期(平成20年7月1日~平成21年6月30日)の業績予想について、平成21年2月6日付当社「平成21年6月期の業績予想の修正および配当予想の修正並びに役員報酬減額に関するお知らせ」にて発表いたしました連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成21年6月期通期連結業績予想数値の修正

(1) 平成21年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年7月1日~平成21年6月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,799	5	39	23	38円14銭
今回修正予想(B)	4,393	228	393	319	391円44銭
増減額(B-A)	406	233	354	296	
増減率(%)	8.5				
(ご参考)前期実績 (平成20年6月期)	4,601	318	268	130	219円93銭

(2) 修正理由

当社は、厳しい経済環境の中でもデザイン家電・インテリア雑貨のオリジナルブランド「TAKUMI」「YUEN TO」につきましては、売上高が対前年比を上回り推移したものの、オーガニックコスメブランド「AGRONATURA」製品につきましては、平成20年8月の成分不表示による自主回収に伴って生産管理体制の見直しを行った結果、しばらく商品供給ができない状態が続き、平成21年2月より順次生産を開始し商品供給の回復に努めてまいりましたが、十分に商品供給できる時期が今夏以降にずれこむ見通しです。

その結果、売上高につきましては、上記の理由により前回発表の業績予想数値を下回る4,393百万円の見通しであります。また損益面につきましても、不採算店舗の撤退および店舗賃借料の条件改善、広告宣伝費や物流費などの絞込みなど、コスト見直しによる収支の改善に努めたものの、売上高の落ち込みによる粗利益の不足を補うには至らなかったこと、またデリバティブ評価損や今後収益改善が見込めない店舗の減損処理を行うことから前回発表の業績予想数値を下回る営業損失228百万円、経常損失393万円、当期純損失319百万円の見通しであります。以上

により連結の業績予想を修正いたします。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期の回復を目指し、デザイン性の優れたオンリーワン商品の開発、オーガニックコスメ商品の生産体制の強化、新業態店舗の出店、空間プロデュース事業・IT事業等の新規事業の本格稼働等により収益力の向上に努めてまいりますので、何卒、引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

[予想に関する留意事項]

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上